

さびいこま
黄鵯

はし
揺る

形存より小さく梅雨の

に來りて秋のはやまで

けり鳴り大音ふと

瑠璃のけりの如くなれども其声清らうと面

地鳴る光のむくたよと云なり
か
良々々々いふ如く

